

評価結果の政策への反映状況報告書

平成30年2月28日

政策の名称	政策の目的・目標	政策評価の結果の概要	政策評価の結果の政策への反映状況
皇居一般参観の利便性の向上等	「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定）を踏まえ、皇居一般参観における当日受付・土曜参観の実施並びに参観者定員の拡大等により、皇居参観の利便性の向上を図るとともに、より多くの方に参観の機会を付与することを目的とした。	<p><b>（必要性）</b></p> <p>①当日受付 当日受付による参観者数は、参観者全体の56.9%を占めており、必要性の高いものであったと言える。</p> <p>②土曜参観 曜日ごとの参観者数を比較すると、土曜日の参観者数が、平日で最も参観者数の多い金曜日の1.3倍となっており、土曜参観の必要性は高いものであったと言える。</p> <p><b>（有効性）</b> アンケート結果において、当日受付が便利であるという回答が87.2%、ガイダンスがよくわかった、わかったの合計が82.6%、皇室施設・皇室文化への理解がとても深まった、深まったの回答が89.7%となっており、本事業は、当初の目的に照らして、有効性の高いものであると言える。</p> <p><b>（効率性）</b> 本事業の広報においては、参観拡充決定時に報道機関へ事前に発表を行い、当庁ホームページにてお知らせを行った。また、信任状捧呈式馬車列事前広報のための観光庁メーリングリストを用いて、都内観光案内所等にお知らせする等により、費用をかけずに大きな広報効果を得ており、本事業は、当初の目的に照らして、効率性の高いものであると言える。</p> <p><b>（今後の課題）</b> 今後は外国人参観者の利便を図るべく、多言語の音声ガイダンスの配備を早期に行うこととしたい。具体的には、日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語及びスペイン語の音声ガイダンスアプリを平成28年度に開発したので、今後、参観者への周知を行いたい。併せて、ガイドについても、担当職員に対する語学研修を充実させるとともに、外国語に堪能な者にガイド業務を委嘱することなどについても検討することとしたい。</p>	<p>・アンケート結果を踏まえ、外国人参観者の利便を図るべく、平成29年5月16日から、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語及びスペイン語）の音声ガイダンスの配備（スマートフォン等用アプリの配信）を行い、参観者への周知を行ったところ、平成30年2月26日現在、49,543ダウンロードとなっている。</p> <p>・ガイドについても、担当職員に対する語学研修を平成29年度より充実させるとともに、平成30年3月より外国語に堪能な者にガイド業務を委嘱することとした。</p>